

- 1 主題名 伝統を受け継ぐ 4－(5) 郷土愛
- 2 資料名 祭りだいこ（「3年の道徳」 文溪堂）

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする価値について

指導内容4－(5)は、「郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ」ことを主な内容としている。

郷土愛とは、地域の人々や生活、文化、伝統に親しみ、それを大切にすることを通して、郷土を愛する心を指している。自分が生まれた所や育っている土地に愛情を感じ、何かを残したい、大切にしたいという気持ちが起こるのが人の常である。しかし、実際に自分が育ってきた土地の自慢をできる人々がどのくらいいるだろう。地域行事に参加する子どもたちが減少していたり、核家族が増えたり、人と人との交流を好まない人が増えているなど、社会の変化に伴って、地域社会における人々の結び付きがなくなりつつあると言われる。

このような時代だからこそ、地域に親しんだり行事に参加したり、郷土の人々と触れ合ったり、優れた文化に触れたりすることは、とても大切なことである。郷土を知り、自分にもできることを見つけ、何かを残していこうとする心を育てることが重要だと考える。

#### (2) 児童の実態 (27人)

本学級の児童には、地域のお祭りで積極的におみこしを担いだり、山車を引っぱったりする子もいれば、全く興味を示さない児童もいる。子ども会活動など、地域の行事を楽しむことは好きでも、地域の清掃活動やボランティア活動に自分から積極的に参加しようという意識は、どちらかというとい低い。

このような実態だからこそ、身近な資料を取り上げ、自分たちが住んでいる地域をもう一度振り返り、大切にしていこうとする心を育てることがより必要となってくると考える。

#### (3) 資料について

本資料は、村の祭りの伝統を四代にわたって継承し、さらに発展させていこうという話である。資料は三つの場面で構成されている。村の祭りで三代続いたおはやし一家に生まれた良子が、父からおはやしの誘いを受け、やろうかどうしようか迷ってしまう場面。親友の山本さんと一緒にやることにし、大変な思いをしながら練習するが、みんなが夏祭りを楽しみにしていることに気付く場面。そして、良子は夏祭りの日に夢中で小太鼓をたたきながら、村の祭りを誇りに思い、そんな良子を見ながら父も伝統を四代に渡って継承できたことに満足している場面である。

これら三つの場面を通して、父からおはやしの話を受けた良子が、村の祭りに参加し、先のことまで考えた心の動きを追いながら、その気持ちに共感させたい。

#### (4) 他教科・他領域や日常指導などとの関連

他教科での指導では、社会科での学習と関連して、市内探検で自分たちの住んでいる町や地域の文化財や行事について学習したことを整理しておく。また、音楽科の「日本の音楽に親しもう」の単元にもつなげていきたい。日常指導でも、実際に清掃活動や秋のお祭りなど、地域での活動に参加、体験させることで、より郷土に親しみ、郷土を大切にすることを育てたい。

### 4 本時の学習

#### (1) ねらい

郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ。

(2) 展開

学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点と評価※ 研究主題達成のための手立て☆
<p>1 石岡の自慢について発表する。</p> <p>2 資料「祭りだいこ」を読んで話し合う。</p> <p>○ 父から「おはやしをする気はないか」と言われていた良子の気持ちはどうだったか。</p> <p>◎ おはやしの練習をしながら良子さんはどんなことを考えていたか。</p> <p>○ 祭りの最中に、山本さんと顔を合わせて思わずにっこりした良子はどんなの気持ちだったか。</p> <p>○ 「二年後には妹もおはやしにさそおう。」と思ったとき、良子はどんな気持ちだったか。</p> <p>3 今までの自分の生活を振り返り話し合う。</p> <p>○ みんなの周りの伝統や文化を大切にしてきた経験はないだろうか。また、これからどうしていきたいか。</p> <p>4 教師の説話を聞く。</p>	<p>・おまつりがある。</p> <p>・文化財がある。</p> <p>・上級生みたいに、太鼓や鉦を鳴らしたい。</p> <p>・楽しいだろうな。</p> <p>・一人では自信がないな。</p> <p>・親友の山本さんを誘ってみようかな。</p> <p>・しょうがないな。</p> <p>・思ったより、楽しい。</p> <p>・みんな親切に教えてくれる。</p> <p>・夏祭りを心待ちにしている人がたくさんいる。</p> <p>・文化を受け継いで、がんばって練習しよう。</p> <p>・みんな楽しそうでうれしい。</p> <p>・主役になれたみたいでうれしい。</p> <p>・一緒に練習してきてよかったね。</p> <p>・お祭りは楽しいから妹と参加したいな。</p> <p>・四代目として、妹と一緒に、おはやしの音を絶やさないようにしよう。</p> <p>・ボランティア活動</p> <p>・コミュニケーション</p> <p>・子ども会活動</p>	<p>○ 先日の市内探検で見つけたことを思い出させる。</p> <p>○ 父の真剣な様子は伝わってくるが、実際にやるかどうか迷ってしまう良子の気持ちを十分に考えさせる。</p> <p>○ 村の人たちの夏祭りに対する熱い思いをしっかりと押さえ、自分たちへの期待に十分に応えていこうとする良子の心の動きを捉えさせる。</p> <p>○ 祭りに参加して得ることができた成就感、郷土への意識の高まりに共感させる。</p> <p>○ 郷土への愛着を感じ、何かを残していきたい、大切なものを継承していこうとする気持ちに気付かせる。</p> <p>※ 郷土の人々や文化に親しもうとする心情を育てることができたか。</p> <p>☆ 良子を通して、自分たちの住む地域の伝統・文化を大切にする心が養われたかどうか確認する。</p>